



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50.0%	50.0%	問題があるときに不定期におこなっている	問題がありそうな場合、関係者のみで話し合いをする機会があるが、全員への周知などは木曜のミーティングでおこなっている 子どもらの様子を共有はしているが時間を決めて行うことができない
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%		日々の様子は全て記録し全員へ周知している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%		週1のミーティングで意見交換をする
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100.0%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	80.0%	20.0%		学校との情報共有は、保護者を介して行う ただし、不登校の利用者については、出席状況や学習内容などを学校へ報告している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0.0%	100.0%	医療的ケアが必要なお子さんを受け入れていない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0.0%	100.0%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50.0%	50.0%		同じ会社内の施設には提供している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	16.7%	83.3%		研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0.0%	100.0%		方針として交流等は行っていない
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	16.7%	83.3%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%		小学校低学年には連絡帳を通して状況を共有している。 低学年以外は気になる点がある際に連絡している
保護者への説	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	16.7%	83.3%	協力医療機関(川谷医院)で行っている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0.0%	100.0%	開催の予定は計画していない	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83.3%	16.7%		長期休みのイベントなど事前に周知を行っている
	35	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	83.3%	16.7%		いつでも連絡が取れるよう連絡ツールを用いて情報交換を行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0.0%	100.0%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	40.0%	60.0%	定期的実施している	マニュアルを策定し職員には周知しているが、保護者への周知は行っていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%		年に2回利用者を含め避難訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%		虐待防止委員会で行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	40.0%	60.0%		いかなる場合も身体拘束を行わないと契約書に明記している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	33.3%	66.7%	該当する利用者はいない	該当する利用者が利用する場合対応する
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	20.0%	80.0%	周知はしているが資料として残していない	資料化する	